『４千万は首領を歌います』

山根　俊郎

１．　はじめに

北朝鮮では、金日成の権力基盤が強くなるに従い、個人崇拝の歌が多く作られるようになりました。

その大きな契機になったのが 1967 年の「唯一思想体系の確立」です。それ以降は、『４千万は首領を歌います』（当時、南北朝鮮の合計人口が 4000 万名と考えられた）のような金日成を称賛する頌歌（しょうか・송가）というジャンルができました。今回は、1967 年の劇的な変化を見ていきます。

２．1967 年 唯一思想体系の確立

私は、「むくげ通信 294 号 2019. 5. 26」で「北朝鮮を知るための 55 章【第２版】の出版」を紹介しました。私もその本に音楽について執筆しました。

明石書店から石坂 浩一（編著）「北朝鮮を知るための 55 章」【第２版】（エリア・スタディーズ）単行本が 2019 年 5 月 12 日に発行された。定価は、本体 2,000 円＋税＝2,160 円。

北朝鮮の歴史・政治・経済・社会・文化・外交を、最新の研究と客観的な分析を踏まえ 55 章に分けて解説する最新の北朝鮮入門書。

★1967 年唯一思想体系の確立についての記述

各研究者が 1967 年に起こった金日成首領への個人崇拝の本格化、唯一思想体系の確立過程についてどのように記述をしているかを見てみたい。

（１）第 II 部 北朝鮮国家の歴史　第９章 自主路線の選択 中ソへの不信感　石坂 浩一Ｐ69

石坂 浩一（いしざか・こういち）1958 年生まれ。立教大学異文化コミュニケーション学部准教授。韓国社会論、日韓・日朝関係史。この本の編集も担当している。

６７年５月 17 日『労働新聞』の社説「党員たちの勤労者たちの中で唯一思想体系を徹底して確立しよう」で初めて「唯一思想体系」という言葉が現れた。

６月から７月にかけて朝鮮労働党中央委員会第４期第 16 次全員会議が開かれ、「全党に唯一の思想体系をいっそう徹底して樹立する」ことが打ち出された。

朝鮮はいずれの国にも依存せず自主路線を選択し、それを守りうるひとりの首領のもとに団結するという方針である。もちろん、首領はキム・イルソン以外にはありえなかった。こうして、国際関係の緊張の中で北朝鮮は国家社会主義の上に独特の政治体制を構築することとなったのである。北朝鮮の自主路線を象徴する言葉が「主体思想」である。

1970 年 11 月、平壌において朝鮮労働党第５回大会が開催され、主体思想は党の唯一思想体系とされ、それに基づく党の統一と団結が強調された。要職は満州派によって掌握された。

（２）第 41 章 北朝鮮の文学 パルチザン神話から現実課題克服の模索へ 布袋 敏博　Ｐ222

布袋 敏博（ほてい・としひろ）1952 年生まれ。早稲田大学国際教養学部教授。朝鮮近・現代文学

次に大きな転機が訪れるのは、１９６７年５月４日から開かれた朝鮮労働党中央委員会第４期第 15 次全員会議で、党の唯一思想体系確立の問題が討議されたが、これは前年６６年 10 月５日の党代表者会議での決定を受けてのものであった。

ここから現在の体制＝主体思想にもとづく体制へと直結する動きが開始される。

文学においてもこうした政治的体制の確立を反映した活動が始まる。革命伝統の重視とその作品化、革命領導（主席）・領導（総書記）の形象化、そのための集団創作などである。叢書『不滅の歴史』（1972 年～）、『不滅の嚮導』（1992 年～）シリーズはその代表的なものであるが、『血の海』（1969 年）『花を売る乙女』（1972 年）などの抗日映画や、革命演劇、革命歌劇などの制作も、文学を幅広くとらえれば、これに相当する動きである。

（３）第 43 章 北朝鮮の映画 発展の途上から低迷へ　門間 貴志　Ｐ234-Ｐ235

門間 貴志（もんま・たかし）1964 年生まれ。明治学院大学文学部芸術学科教授。アジア映画史

著書「朝鮮民主主義人民共和国映画史－建国から現在までの全記録」現代書館 2012 年がある。

北朝鮮映画史の分水嶺というべき事態が１９６７年に起こった。キム・イルソンの最大の政敵であったパク・クムチョル（朴金喆）らを中心とする甲山派の粛清である。東欧型の国家運営を考え、人民の生活向上のために軽工業振興を図り、個人崇拝を批判した甲山派の政治家たちは、南進に備え重工業を優先するキム・イルソンのパルチザン派と衝突したのである。文芸界の分野に甲山派が築いていた人脈も、キム・イルソンにとって脅威だった。

映画人たちは部分的にではあるが西側の映画理論などを知り、それを取り入れようとさえしていた。

労働党の宣伝扇動部にいたキム・ジョンイルが文芸界の刷新に取り組むことによって、北朝鮮映画はキム・イルソン思想を絶対視する「チュチェ映画」へと大きく舵を切った。

一部の映画人は地方に追放された。外国の映画理論は遮断され、キム・ジョンイルの著した『映画芸術論』が指針となった。

撮影所は拡張され、設備も一新された。キム・ジョンイルが製作の陣頭指揮をとった大作革命映画『血の海』（69 年）や『花を売る乙女』（72 年）は絶賛され、映画改革は一定の成果をあげた。しかし、思想優先の映画製作は映画人の創造性を縛り、ほどなくマンネリズムに陥った。

（４）第 42 章 スローガンとしての音楽 革命闘争と体制賛美　山根 俊郎　Ｐ229

キム・イルソン首領 崇拝の時期（1967～1989 年）

山根 俊郎（やまね・としろう）1951 年生まれ。韓国・朝鮮歌謡研究家。

北朝鮮では６７年以降を「社会主義建設時期（２）」と規定しているが大きな変化が押し寄せた。

キム・イルソン首領への極端な個人崇拝の時代を迎えたのである。

６７年６月朝鮮労働党中央委員会第４期第 16 次全員会議で労働党の唯一思想体系が主体思想として確立されると反党反革命宗派分子の粛清の嵐が吹き荒れた。

その結果、歌謡の歌詞は①キム・イルソンの抗日パルチザン闘争の賛美、②キム・イルソン首領の温かい配慮をテーマにした個人崇拝に変わる。

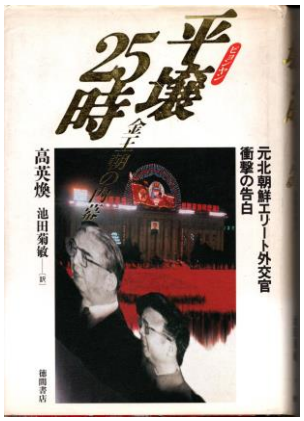
既存の有名歌謡にもキム・イルソン首領を登場させる“改詞”を行い、作詞を個人名から“集体”（集団創作）に変更させてしまった。

また、民族音楽が強調されて大学ではベートーベンなど西洋の古典音楽書籍の「焚書」が行われ、民族楽器の改良玉流琴の製作や“濁声”を除去する“主体式発声法”が開発された。

７０年代にはキム・ジョンイルが主導して①『血の海』（ピパダ歌劇団、７１年）をはじめ②『花を売る乙女』（万寿台歌劇団、７２年）、③『党の真の娘』（朝鮮人民軍協奏団、７１年）、④『密林よ 語れ』（平壌芸術団、７２年）、⑤『金剛山の歌』（平壌芸術団、７３年）の“五大革命歌劇”が相次いで創作された。『血の海の歌』（主題歌）、『総動員歌』（挿入歌）や『花を売る乙女』（主題歌）は一世を風靡した。

３．私の根拠資料

私が「民族音楽が強調されて大学ではベートーベンなど西洋の古典音楽書籍の「焚書」が行われ」と記述した根拠資料は、高英煥著「平壌 25 時－金王朝の内幕」（池田菊敏訳 1992 年徳間書店）P317-P322 です。



著者は、1953 年生まれ。平壌外国語大学フランス語科卒業。1979 年外交部に入り、コンゴ大使館一等書記官勤務中の 1991 年に北朝鮮の外交官として初めて韓国に亡命した。

この手記には 1967 年の＜５月 25 日宗派事件＞と８月の外国思想排斥運動（山根が命名）、そして学校教育で金日成革命史を教えるようになったことが書かれています。以下に転記します。

（平壌外国語革命学院に在学中の話）「エリート教育にも政治の影が」

当時、学院には金日成の親戚の子女たちや、のちに北朝鮮の労働党の副委員長を務めたが反金日成宗派分子として粛清された朴金喆、宣伝部長をしていた金道満の息子など最高位級の子女たちが多くて、祭日の時には学院の運動場に高級車が５、６０台押し寄せたりするのだった。そのせいか、または外交官を育てあげる「原種場」（産室）であるためか、学院には録音器など教育機資材が豊富で、食事の質もかなり高かった。

学院時代、一番印象に残ったのは 1967 年の＜反宗派＞闘争だった。15 歳の幼い子供に反宗派闘争が何であるかはよく分からなかったが、宗派分子が悪い人たちだという認識を持つようにさせた事件が、それであった。しかし、一方ではその子女たちが気の毒だという思いがした。

＜５月 25 日宗派事件＞というのは当時の労働党中央委員会の副委員長として北朝鮮でナンバーツーの地位にあった朴金喆、金道満などが金日成に反対するグループを形成して、政変陰謀を企てたという事件であった。これによって、たくさんの高位幹部たちを処刑するなど、その影響力を根こそぎ引き抜く一大政治キャンペーンだった。

彼らの子女たちも無事であるはずがなかった。授業の途中に先生が訪ねてきて「誰それ学生！」と連

れて出て行くと、その日からその学生は行方不明になった。

はじめは、とても高位級の父親を持った子女たちだから、いっしょにどこか休暇にでも行ったのかと思ったが、数日後からは学院内に流れる噂によって真相が明らかになった。その子たちの父親が米帝と韓国のスパイであり、党に反対する宗派分子なので、監獄に捕らえられていった、というのだった。

その時、学院ではほぼ３か月間つづけてクラスメートが＜消えて＞いった。後で聞いたことだが、尋問・検閲が激しくなり、彼らの家族も政治犯収容所に監禁したのである。そのため、授業中にあるクラスメートが呼ばれていくと、子どもたちは授業中でも窓の外を眺めたりした。窓のカーテンを閉めた黒塗りの車が停まっているのを見るためだった。こんな時には、先生も黙って窓の外を眺めた。

運動場に黒塗りの乗用車やジープが停まっていると、連れていかれたその学生は永遠に戻ってこなかった。

その時、私たちはいなくなった子にたいして「子どもになんの罪があるのか？」などと同情しながら自分の父親がそうした＜スパイ集団＞に入っていないことを望んだのであった。

しかし、もっと恐ろしいことはその後に起こった。

67 年８月頃だと記憶しているが、ある日、運動場にみんな集まるようにという指示があった。行ってみると、運動場の真ん中にたくさんの本が山のように積まれていた。私たちが全員集まると、党の中央委員会からきたという幹部の一人が声を張り上げた。

「これらの本とカセット・テープは、＜修正主義＞、＜ブルジョア思想＞が書かれたリ、録音されたりしているものなので、今から燃やして、この世から葬ってしまう！」

そう言いながら、ライターで火をつけた紙束を投げた。すでにガソリンをばらまいてあったようで、火柱が高く上がった。粛然と立っていた学生たちは火柱が高くなると、ざわめきながら火に焼かれている本は、すべて外国で出版された事典類や絵画の本、小説本などだった。常日頃、一度は手にすることができたら、と思っていた＜LAROUSE(ラロース)＞のような事典、＜ASSIMIL＞のような録音テープ、珍しい小説本、凄まじい火がぼうぼうとまとわりつくと、みんなの顔にもったいないなあと惜しがる表情がありありと浮かんだ。

その時、私たちのうちの何人かが担任の先生のところに駆けつけて尋ねた。

「先生、あの大切なものをなぜ焼くのですか？私たちが落書きをしたりちょっと破いただけでも叱られたあのような本をなぜ焼くのですか？」

何人かの女学生たちは泣き声まであげた。その時、私たちの担任の先生の目尻に浮かんだ涙のしずくを永遠に忘れることができない。先生は私たちを抱いて、言葉もなく私たちの肩を撫でてくださった。

数万冊にものぼる英語、仏語、スペイン語、アラブ語などの教科書、小説本、録音テープは、次の日の朝までも火を吹き出していた。その時の、あのものすごい火柱を私は永遠に忘れることができないだろう。火に舞って、本が空中に飛び上がっては落ちる、その本を胸に抱いて泣いていた女子学生たち、彼らの腕から本を奪って、ふたたび火の中に投げて入れていた党中央委員会の人たち…その日のあの場面は、死ぬ時まで私の脳裏から離れないだろう。

私はその後、大学に通った時、第二次世界大戦を描いたソ連映画の中でヒトラーの突撃隊がシラーとハイネの本を燃やす場面を見ながら、その日の火柱を思い浮かべた。

（中略）（彼は学習意欲をなくして開城の自宅に帰るが父に諭されて復学する）

ふたたび、学院に戻って勉強を始めた。しかし、面白くなくて、なんとなく気が抜けたような感じがした。

この時が多分、金日成の唯一独裁を体制化し、金正日の後継体制を準備し始めた時であろう。

この時（1968 年）から学院の科目の中に政治性を帯びた「金日成同志革命歴史」「金日成同志革命家系」「金日成同志労作」「党政策」などの科目ができ、その時間も増えた。

★経過

1967 年５月４日～８日労働党中央委員会第４期第 15 次全員会議　党の唯一思想体系の確立が討議。

５月 17 日労働新聞社説「唯一思想体系の確立」

５月 25 日 ＜反宗派＞闘争　経済派である甲山派の朴金喆、金道満、李孝淳等が粛清される

６月 28 日～７月３日　労働党中央委員会第４期第 16 次全員会議 唯一思想体系が確立。

８月頃　平壌外国語革命学院で西洋書籍の「焚書」事件

1968 年から学校で政治性を帯びた「金日成同志革命歴史」などの金日成称賛教育が実施された。

1970 年 11 月２日～３日労働党第５回大会 主体思想は党の唯一思想体系とされる

４．歌集「大衆歌謡集」(1968 年）の発行

1967 年に起こった金日成首領への個人崇拝の本格化、唯一思想体系の確立の直後に発行された歌集の目次を見てみましょう。

「大衆歌謡集」（ 대중가요집）1968. 8. 10

群衆出版社発行
この歌集が日本でも印刷された。1970.4.15 九月書房　住所・東京都千代田区富士見１－６－10
電話（261)6196～8 発行　２２５曲収録。P304

金日成首領を崇拝する歌から先に並べる典型的な北朝鮮の歌集のスタイルを取っています。重要な歌は、字体をゴシック体にして強調しています。
また、制作年が記載されているのがうれしい。

目次　（　）は、ページ数。
★＝もっとも重要な歌です。３曲。
★『金日成将軍の歌』　김일성장군의 노래
李燦 詞・金元均 曲　1946 年（12）
★『愛国歌』　애국가
朴世永 詞・金元均 曲 1947 年（14）
★『金日成元帥に捧げる歌』　김일성원수에게 드리는 노래　元宗素 詞・朴漢奎 曲　（16）
原本では 1958 年×間違い→1956 年〇正しい

以下の 10 曲は 1967 年と 1968 年に慌てて創作されたようです。
★『4千万は首領を歌います』4 천만은 수령을 노래합니다　全강우 詞･金正洙 曲（20）
原本では 1968 年×間違い→1967 年〇正しい
→その後、多くの歌集に掲載された。無線カラオケメアリ（NO.208)、通常カラオケ（NO.52）にも収録されている。
×＝直ぐに消滅した歌です。８曲。
×　『4 千万は歌う忠誠の歌』
4 천만은 노래불러 충성의 노래 1968 年　（21）
×　『首領に捧げる忠誠の歌』
수령께 드리는 충성의 노래　1967 年　（22）
×　『英明で親しいオボイ首領』
영명하고 친근하신 어버이수령　1967 年　（23）
×　『首領は我らを勝利に導く』
수령은　우리를　승리에로　이끄시네　1967　年（24）

×　『我らはひたすら首領に従う』
우리는 오직 수령을 따라　1968 年　（26）
×　『首領様は我らとともにいらっしゃる』
수령님은 우리와함께 계시네　1968 年　（28）
×　『ひたすら一つの心で首領のために』
오직 한마음 수령을 위해　1967 年　（29）
▲＝少しの期間残り消滅した歌です。１曲。
▲『金日成元帥様の万寿無彊を祝願します』
김일성원수님 만수무강 축원합니다
桂정균詞・**尹英煥＆**金영신曲　1968 年（30）
→その後、３ケの歌集に掲載されて消滅。
×　『首領様にお仕えして生きます』　**수령님 모시고 천만년 살아가라**　1967 年　（31）
その後は、党称賛の歌３曲。
父金亨稷（キム・ヒョンジク）が作ったと伝えられる革命頌歌。『南山の青い松』**남산의 푸른 소나무** 1968 年発表。
母康盤石（カン・バンソク）称賛の歌。『朝鮮のオモニ』**조선의 어머니**　金在化 詞・李冕相曲 1967 年。
その後に映画主題歌のグループ。
また、歌謡の発表年順のグループ。1945-1950。1950-1953。1954-1956。1957-1960。1961-1968。が続きます。

５．その後の歌集で改題

その後の歌集では『４千万は首領を歌います』は、改題されました。

歌集「チョソン歌曲集・조선의 노래」文芸出版社（1971 年）では、『４千万は首領を歌います』のまで載せられています。楽譜を P6 に転載しました。

しかし、「朝鮮名曲６００曲集」文芸出版社（1977 年）では、

『人民 は 歌 い ま す　われらの首領 を 』인민은 노래합니다 우리의 수령　전강우시,김정수곡　に改題されて、歌詞も一部変更されています。

その後の歌集「朝鮮歌謡２０００曲集」文化芸術総合出版社」（1994 年）でも

「人民 は 歌 い ま す　われらの首領 を 」　인민은 노래합니다 우리의 수령 1967 년 전강우시,김정수곡　に改題されています。

もはや南北朝鮮の総人口が４千万名を越えたためかな？

６．北朝鮮 TV で回顧される

YOUTUBE で 2017 年頃？に北朝鮮の放送「文芸作品、音楽鑑賞　永遠に首領を欣慕する歌　歌謡『４千万は首領を歌います』（７：４２）で回顧されていました。

(1) [음악편집물] 영원한 수령흠모의 노래 - 가요 《4 천만은 수령을 노래합니다》 - - YouTube

金正日がまず、３番の歌詞を作ってこれで歌を完成するように指示したそうです。

この放送では、「1967 年に創作」と言っています。私も 1967 年創作が正しいと思います。

他に下記の２曲も楽譜が紹介されてたが、上記の「大衆歌謡集」には創作時期が遅かった関係なのか載せられていません。

『首領様の胸の中でわれらは生きる』（수령님 한품속에 우리는 사네）チュミン（주민）詞・金正洙曲１９６８年

『首領様の高い意思が赤く咲いたね』（수령님의 높은　뜻　붉게　피었네）作詞不明・李学範曲創作年不明

みなさん。こんにちは。今日の時間は１９６７年に創作された歌謡「四千万は首領を歌います」を鑑賞していただきます。多分、この歌が白頭山革命戦跡地で創作されたことを知る人はそれほど多くないでしょう。

1960 年代初め、偉大な（金正日）将軍様は、オボイ（父親）金日成首領様の偉大性を称賛する頌歌（しょうか・송가）の創作を発意されて、朝鮮中央放送の創作者たちに依頼しました。

創作者たちは直ちに白頭山革命戦跡地に行きました。彼らはポチョンボ戦闘戦跡地で作詞のヒントを探しました。その時に創作者の耳元に「首領様がいらっしゃったお陰で　今日の朝鮮があり、朝鮮が世界に燦然と輝く」と言われた偉大な将軍様の声が聞こえて、それで詩想を得たといいます。

創作者たちは将軍様の教示をそのまま歌に移しました。

あなたが　おられて　朝鮮があり　その名前は世界に　燦々と輝きます

このように、まず３番から創作して３番を核にして１番と２番が完成しました。

創作された歌を聴かれた偉大な将軍様は、この歌は抗日戦争に勝利を成し遂げて祖国を解放して、我らの革命を領導して、この地を人民の楽園に作り世界に燦然と輝かすことができたオボイ（父親）金日成首領様をもっともきれいな心で仰ぎ見て、崇高な感動を呼び起こすものである。この歌のように美しい民族的な味を出せるように作らなければならない、と高く評価されました。

このように「四千万は首領を歌います」を始め 1960 年代には首領の頌歌の創作作業が広がりました。

「首領様の胸の中でわれらは生きる」（수령님 한품속에 우리는 사네）「首領様の高い意思が赤く咲いたね」（수령님의 높은 뜻 붉게 피었네）

（楽譜が写される）このように首領様の欣慕の頌歌が続々と創作されました。

その時から半世紀が流れました。しかし、今日も我ら人民は、この歌を聴いて、抗日革命精神を呼び起こされて、我が祖国に帰られて、この地を人民の楽園に育てられたオボイ（父親）金日成首領様の業績を顧みて、偉大な賢明な金正日同志に従い、我が党に従い、突き進んでいきます。

それでは我らも画面を見て一緒に鑑賞しましょう。